

# 稲雲

早稲田大学  
理工漕艇部OB会  
碧水会会報 42 号



## ご挨拶

「2018 年 OB 会活動回顧 & 2020 年に向けて」

— 現役支援と OB の為の OB 会 —  
OB 会長 鳥羽博司 (S50 年卒)



昨年 11 月 3 日、早大法学部前の高田牧舎に大勢の OB 諸氏にお集まりい

ただき、OB 総会を開催いたしました。2017 年の OB 会活動も、「現役支援と OB の為の OB 会」を活動の両輪として、行って参りました。

### 【現役支援活動】

理工ボートの復活に向け、部員数増大を目指し、現役への支援活動を継続しています。学生による活発な新人勧誘活動及びそれを支える現役支援委員会/監督・指導陣の支援強化もあり、今年の新入部員も 15 名を数えております。、各学年の部員数は、2 年 12 名、3 年 19 名、4 年 5 名と学部学生だけでも総計 51 名となり、理工ボート再興に向け着々と下地固めを進めているところです。今後は、部員の長期定着化を図りつつ、来年度の新入部員数の更なる増大を目指し、現役支援を強化して参る所存です。

理工ボート部クルーの実力は、いまだ底辺を這っている状況にあります。そのような中で 5 月の全日本軽量級選手権 (2000m) では、男子ダブルスカルが、全日本クラスの大会ではなんと 11 年ぶりに準決勝進出を果たすなど、新たな希望の芽も育ちつつあるところです。

一方、昨今の学生ボート界における女子パワーの隆盛は大変な勢いで、理工ボート部も例外ではなく、今年の新入部員 15 名のうち女子部員が 8 名 (うち漕手希望 4 名) と、男低女高の状況にあります。また概報のとおり、87 回を数える今年の前慶レガッタに、初めて、クオドルプルによる女子学部対抗 (早大理工 vs 慶大医学部) レースが正式に組み込まれましたこと、対抗レース実現に向けた現役女子部員による真剣な働きかけに加え、ボート界における女子パワーの潮流の影響も幸いしているのではと感じております。

なお、現在の理工ボートの活動状況は、部員数の増加とともに女子漕手の活動の活発化もあり、合宿所の不足問題 (現状、戸田公園駅に近い賃貸マンションを男女共有の合宿所としている) や、練習や試合に使う艇やオール不足問題、特に男女とも試合に使用する艇が不足しています。現在監督・指導陣が、女子漕手向けに新たな合宿所候補を物色中ですが、OB 会も、早急な合宿所手立てを支援すべく、動き出しています。

合宿所や艇など、練習環境に恵まれないうなか、監督・指導陣の現役学生に寄り添った熱心な指導が実を結びつつあり、理工ボート部全体の雰囲気も明るく、合トレ等活発な部活動が継続されてきており、徐々にではありますが、良い結果もできるようになってきています。

### 【OB の為の OB 会活動】

750 名を超える OB・OG を抱える理工ボート部 OB 会では、会員の 27% (約 200 名) 程度しか会費を支払っていただけておらず、その会費収入の 8 割以上を現役支援に充てている現状の OB 会会計の状況は健全であるとは言えません。また、会費納付者の多くが高齢化しつつある現状を踏まえ、早急な改革・改善策が必要な状況にあります。

OB 会では、会員リレーション委員会を立ち上げ、ここ数年会員の登録数の増大やコミュニケーションの強化を通じ、会費納入率の向上を図ってきていますが、特にこの 20 年間ほどのうちに卒業された若手 OB/OG 諸氏との連絡が難しく、成果が上がっておりません。

上述の会費納入率向上アクションの継続強化を図るとともに、新たに会員リレーション委員会・総務委員会・ビジョン会則整備委員会合同にて、会員制度を含めた OB 会費改革案の検討を行い、抜本的な解決策を模索してまいります。

2018 年の OB 会活動は、碧水会ローイング・クラブ (高橋主将、S-52) の活動を中心に、ホームグラウンドを相模湖におき、戸田、鶴見川等にて隔週日曜日に定期乗艇練習を実施し、横浜市民レガッタ、理工系レガッタ、お台場レガッタ、全日本マスターズや下諏訪レガッタなどに出場しています。

今年 5 月に熊本県菊池市で開催された全日本マスターズには、碧水会 RC よりエイトに加え、シングルスカル 3 艇、ダブルス

カル 2 艇、クオドルプル 1 艇、ナックルフォア 2 艇 (ダブルエントリー等あり) が出場するなど、大勢の OB 諸氏が参加されました。またレース当日九州在住の 2 名の OB が応援に駆けつけてくれたほか、地元出身の OB の親戚の方の絶大なるご支援/差し入れ (名産の馬刺しなど) を頂戴し、地方での試合への参加の醍醐味を心身ともに満喫させて頂きました。

今後は、東京を中心とする OB 会活動の枠をさらに広げ、地方に居住する OB・OG とともに一緒に参加できるようなレースやイベントを掲げ、OB 会活動の拡大、活性化を進めてまいります。

### 【2020 年東京オリンピックに向けて】

2020 年 7 月には、海の森公園ボートコース (正式名称は、海の森水上競技場) にて、第 32 回オリンピック・ボート競技が開催されます。種目は男女ともに、1. シングルスカル、2. ダブルスカル、3. クオドルプル、4. 軽量級ダブルスカル、5. 舵手なしペア、6. 舵手なしフォア、7. エイトの 7 種目です。

オリンピック本番に向け、来年 3 月完成予定の海の森公園ボートコースでは世界ジュニア選手権が 2019 年 8 月 4~11 日に行われる予定で、この選手権開催・運営にあたり、理工ボート OB 会にも、日本ボート協会並びに東京都ボート協会より支援要請が来ています。

また、2019 年 6 月 16 日 (日)、海の森公園ボートコースのこけら落とし記念レガッタ (日本ボート協会創立 100 周年記念事業) として①オックスフォード&ケンブリッジ招待レース、②国内大学定期戦や高校生・社会人レース、③パラローイングのデモンストレーションなどが予定されています。

2020 年東京オリンピックに向け、これからの 1 年半の間、世界ジュニア選手権や本番大会ボランティアなど、ボート競技の開催・運営に係れる機会があることと思われまますので、OB/OG 諸氏におかれましては、是非ともご参加をお願い申し上げますとともに、新たな半世紀に入った理工ボートの部活動・OB 会活動の更なる活性化を図って参りますので、今後とも、物心両面からの絶大なるご支援を宜しくお願い申し上げます。

以上

## 2018 年度 OB 総会、懇親会のご案内

本年度も OB 総会並びに現役・OB 懇親会を下記の通り開催致します。

場所は、大隈ガーデンハウス 3 階 (大隈講堂と庭園の間の道の奥) で、総会を 13 時より 1 時間程度行い、14 時より同じ場所で懇親会を行います。同期の方々、ご家族などお誘い合わせの上、多数ご参加いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

日時：2018 年 11 月 3 日 (土)、13:00~16:00

場所：大隈ガーデンハウス 3 階 (早稲田大学本部、大隈講堂と庭園の間の道の奥です)

電話：090-3236-7319 (小泉携帯)

会費：6,000 円 / 1 人 (ご家族の方、お子様は会費不要です。)

### 総会

- 1、会長挨拶
- 2、議案審議
  - 1) 2018 年度活動報告、及び 2019 年度活動計画承認の件
  - 2) 2018 年度決算報告、及び 2019 年度予算案承認の件
- 3、報告事項
  - 1) 早慶レガッタ運営協力の件 (今期の報告と来期の予定)
  - 2) 現役活動報告
  - 3) その他

### 懇親会

- ① 開会の辞
  - ② 会長挨拶
  - ③ 乾杯
  - ④ 総会報告
  - ⑤ 監督挨拶
  - ⑥ 現役の活動報告
  - ⑦ 歓談
  - ⑧ 校歌斉唱
  - ⑨ 閉会の辞
- ★ 今年も、皆様の参加表明を、下記のメールか、携帯、FAX にてお願い致します。

なお、ご返信の無い場合は、議長に決議に関する一切の件をご委任いただいたものとさせていただきます。

会長：鳥羽 博司

担当：小泉 S52 卒

FAX: 03-6222-9890、

携帯: 090-3236-7319

メール: somu@ob.w-tech-bc.com



団塊号と碧水会の間には平均年齢が全く同じであるにも関わらず相当のタイム差(6~7艇身分)があります。

今後のレース出場に際して、碧水会としてどのように目標を設定するかということになりますが、少なくともエイトで上位に食い込もうとするのであれば、どのように個々の漕力(体力?)を上げていくかが課題となります。その場合、乗艇練習ばかりでなくきちんと陸トレも進めていかないと、今後の展望が開けません。初心に帰って、新人時代のトレーニング経験を思い出すとともに、どのように取り組んでいくかを再検討する必要があります。

以上、耳の痛い話でもあります。団塊号のように漕力強化が来ているチームもありますので、みんなで頑張っていきましょう。

### お台場レガッタ 2018

平成30年(2018)6月24日(日)

場所:お台場海浜公園

2010年にスタートした「お台場レガッタ」は今年で第9回目を迎え、ボートに親しむ人々のための楽しいフェスティバルとしてすっかり定着してきた観があります。ただし、希望すれば誰でも出場できるというものではなく、出場は抽選によって決まるといふ大会です。幸いにして碧水会は去年と同様に希望したクルーすべてが当選して、出場することができました。

種目はエイト(8+)とナックルフォア(KF)の2種目です。碧水会からは混成クルーを含め以下の4クルーが出場しました。

◇レース成績 8+ 1000m

◇ストレンジ杯 8+

稲門超六・碧水会混成

稲門超六漕ごう会と碧水会(早稲田大学理工学部ボート部OB会)の混成チーム。

C 谷古義昭、S 丸山春望 7 佐藤貞雄、6 井村正陽、5 市川暢男、4 松永俊雄、3 岡本 卓 S44、2 田中敏雄 S44、B 岡本 悟



### 早大理工碧水会 S50

S50年卒を中心とするクルー。

C 吉田新一 S44、S 池田和夫 S50、7 澤田雅高 S50、6 鳥羽博司 S50、5 橋本豊勝 S50、4 松村治夫 S47、3 井窪裕之 S50、2 高橋康夫 S52、B 向坊 博 S47



### ◇レース成績

チーム名	ハンディ (a)	1回目 (m:ss.00)	修正 (m:ss.00)	2回目 (m:ss.00)	修正 (m:ss.00)	合計 (m:ss.00)	着順
日本ボートマンクラブ	0:14.40	1:04.35	0:49.95	1:05.62	0:51.22	1:41.17	1
多摩川クラブM	0:06.90	0:59.96	0:53.06	0:59.81	0:52.71	1:45.77	2
三田漕マスターズ	0:10.10	1:02.75	0:52.65	1:03.91	0:53.81	1:46.46	3
稲門超六・碧水会混成	0:15.00	1:07.42	0:52.42	1:11.57	0:56.57	1:48.99	8
早大理工碧水会 S50	0:09.80	1:04.23	0:54.63	1:04.18	0:54.58	1:49.21	9

◇チャレンジ KF 300m(18クルー出場)

早大理工碧水会 S44

S44年から52年の間に卒業したメンバー。

C 吉田新一 S44、S 松村治夫 S47、3 小林良夫 S52、2 高橋康夫 S52、B 渡部義明 S45



NANDAKANDA(なんだかんだ)

昭和59年卒業の同級生クルー。

C 堀内英樹 S59、S 小野澤雄二 S59、3 佐久間康文 S59、2 熊谷達也 S59、B 栗原修一 S59



### ◇レース成績

チーム名	1回目 (m:ss.00)	2回目 (m:ss.00)	合計 (m:ss.00)	着順
オリンピアン	1:08.55	1:09.41	2:17.96	1
オール同志社	1:13.05	1:16.30	2:29.35	2
ワセダクラブチャレンジ男子	1:15.91	1:16.15	2:32.06	3
NANDAKANDA(なんだかんだ)	1:23.28	1:21.23	2:44.51	11
早大理工碧水会 S44	1:22.96	1:35.14	2:58.10	13

(注)碧水会 S44 の 2 回目のタイムがガタ落ちしているのは、隣のレーンからのコース侵害があり、イージーオールをかけたことによるものです。

### ◇アフターレース

レース後はお台場ジョイポリス 3Fにあるフレームカフェにて奥方同伴による慰労会が開催されました。ぜひ下の写真の中で

にっこり微笑む奥様方の表情にご注目下さい。日頃ボートにかまけて家庭を顧みない亭主どもとしてはこれで免罪符を得たものと胸をなで下ろしている次第です。



### 第51回関東理工系レッタOB招待レース

平成30年(2018)6月2日(土)

場所:戸田オリンピックコース

「関東理工系レッタ」は、関東に存在する青山学院大、茨城大、学習院大、慶應大(医学)、首都大、早大理工、千葉大、中大理工、東京海洋大、東京工業大、日医大といった大学からの理工系学生が出場する対抗レッタです。

その関東理工系レッタのエキシビジョンとしてOB招待レースが開催されました。種目はエイト(8+)とシングルスカル(1X)の2種目です。成績はエイトが4杯レース中3位。シングルスカルは3杯レースと出場チームが少ない中、2杯が出場し、1位、2位を独占しました。



### ◇OBレース成績

◇8+ 1000m

レーン	クルー名	500m (m:ss.00)	1000m (m:ss.00)	着順
2	白門理漕人	1:57.48	3:59.42	4
3	蔵前漕艇クラブ	1:46.12	3:36.89	1
4	碧水会RC	1:56.86	3:55.56	3
5	矢切RC	1:53.74	3:52.71	2

《碧水会エイトクルー編成》

C 吉田新一 S44、S 野村祐造 H03、7 本田一博 H03、6 小寺浩二 S60、5 栗原修一 S59、4 鳥羽博司 S50、3 小林良夫 S52、2 松村治夫 S47、B 中平法生 S57

《◇1X 1000m》

レーン	クルー名	500m (m:ss.00)	1000m (m:ss.00)	着順
3	権朋会(村川裕基)	2:34.94	5:07.95	3
4	碧水会RC A(松村治夫S47)	2:13.48	4:33.52	1
5	碧水会RC B(小寺浩二S60)	2:12.17	4:40.60	2



### ◇懇親会

OBレースの楽しみはもちろんレースそのものにあるわけですが、レース後の懇親会も大きな楽しみの一つになっています。今年の懇親会は戸田公園西口駅前にある常来吃(サンレイチャ)で開催されました。



### 第11回全日本マスターズレガッタ

平成30年5月26日(土)・27日(日)

場所:菊池市蛇口湖ボート場

2年前、第9回全日本マスターズレガッタはここ蛇口湖ボート場で開催準備がほとんど整っていましたが、直前の熊本地震のために中止を余儀なくされました。今回の大会はその震災を乗り越えての開催となります。しかも、九州では初めて開催されるマスターズレガッタになりました。

マスターズレガッタは、種目別および年齢カテゴリー(\*)別に競い合うレースですが、一般のレースのように総合順位を争うというのではなく、各レース毎に優勝を争うこととなります。つまり、同一種目、同一年齢カテゴリーであっても別レースが設定されれば、それぞれのレースで優勝者が決まるということになります。

注(\*)：年齢カテゴリー

A:27~35歳、B:36~42歳、C:43~49歳、D:50~54歳、E:55~59歳、F:60~64歳、G:65~69歳、H:70~74歳、I:75~79歳、J:80~84歳、K:85歳以上

碧水会からは、スイープ系ではエイト(M8+)、ナックルフォア(MKF)の2種目、スカル系ではシングルスカル(M1X)、ダブルスカル(M2X)、クオード(M4X+)の3種目に出場しました。成績は、スイープ系は練習不足、スタミナ不足がたたって低調な結果に終わりましたが、スカル系ではかなり健闘し、中でもレースNo.31 M1X(G)では荒川裕明 S52さんが肋骨を負傷するというハンディにもめげず見事優勝を果たし

た。



◇25日 BBQ

全日本マスターズが開催される菊池市は栗原修一 S59さんの地元ということで、今回の遠征旅行はすべて栗原さんが取り仕切ってくれました。25日に現地入りし、宿舎である七城(しちじょう)温泉ドームではさっそく前夜祭のBBQが始まります。宿舎の手配にあたっては栗原さんの従兄にあたる田代武則さん(写真第1段中央)のご尽力により、豪華な温泉付きの宿舎に破格の値段で宿泊できることになりました。その上さらに田代さんからは地元特産の馬刺しの差し入れまでいただいています。BBQには、田代さんの後輩にあたる菊池市役所職員の藁田(つるだ)光一郎さん(写真下段、青シャツ着用)が参加され、菊池市にまつわる話をたっぷり聞かせていただきました。中でも熱が入ったのは、菊池市は西郷隆盛の祖先発祥の地であるところでした。勉強になりました。



◇26日レース成績

午前中は小雨に見舞われましたが午後からは雨も上がり、レースは順調に進行していきました。スタート付近では波がかなり高く、オールが水しぶきを上げる様子が見受けられました。

◇No.7 08:48 M2X 1000m (G)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
2	G	名島会スカル	4	04:37.48
3	G	日本ボートマンクラブA	1	03:50.98
4	G	早大理工碧水会 M	2	04:01.37
5	G	鳥嶋ローイングクラブB	3	04:23.12

碧水会クルー: S松村治夫 S47 B荒川裕明 S52

◇No.13 09:36 M1X 1000m (F)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	F	高島理工碧水会	3	04:45.20
2	F	加藤(加藤)会	4	04:55.01
3	F	高橋(高橋)ローイングクラブ	2	04:41.61
4	F	本田(三原ケミカル鳥嶋)	5	05:17.37
5	F	那谷(那谷)ローイングクラブ	1	04:22.59

碧水会クルー: 高島洋一 S56

◇No.23 10:56 M2X 1000m (D)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	B	小野瀬ボートクラブ	2	03:59.50
2	B	トラウチンズ2018	1	03:43.31
3	C	清水会	1	04:47.57
4	D	早大理工碧水会 K	2	04:06.93
5	D	ハルテ D	1	04:02.83
6	D	でんすけ	3	04:29.89

碧水会クルー: S小寺浩二 S60 B野村祐達 H03

◇No.28 11:36 M1X 1000m (G)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	G	松村(早大理工碧水会)	3	04:32.67
2	G	加藤(野村川RC)	4	04:49.24
3	G	秋山(三原ボートクラブシニア)	2	04:22.43
4	G	池田(ボート同好会(だんかいこう))	1	04:18.71
5	G	小林(ボート同好会(だんかいこう))	5	04:59.09

碧水会クルー: 松村治夫 S47

◇No.31 12:00 M1X 1000m (G)

荒川さん優勝



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
2	G	折原(小野瀬ボートクラブ)	4	05:08.11
3	G	小沢(新白浪住宅八幡)	2	04:53.09
4	G	荒川(早大理工碧水会)	1	04:30.60
5	G	松高(ハルテ会)	3	04:53.08

碧水会クルー: 荒川裕明 S52

◇No.51 15:04 M8+ 1000m (G)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	G	総合船友会	2	03:41.27
2	G	早大理工碧水会理工 S50	6	03:55.59
3	G	札幌はらローイング・フレンズ	5	03:52.69
4	G	名古屋大学船友会関西 G2	4	03:48.40
5	G	折原(小野瀬ボートクラブ)	1	03:40.45
6	G	阪大船友会・TMRRC連合	3	03:48.90

碧水会クルー: C吉田新一 S44 S池田和夫 S50 7澤田雅高 S50 6鳥羽博司 S50 5橋本豊勝 S50 4松村治夫 S47 3井窪裕之 S50 2橋本隆一郎 S50 1向坊博樹 S47

◇No.58 16:08 M4X+ 1000m (E)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	D	ハルテ D	1	03:46.84
2	E	橋本会クオド	4	04:20.71
3	E	早大理工碧水会	2	04:12.09
4	E	多摩川クラブ	3	04:16.30
5	E	藤田エ・タ開会	1	04:03.97

碧水会クルー: C中平法生 S57 S小寺浩二 S60 3野村祐達 H03 2荒川裕明 S52 B栗原修一 S59

◇26日懇親会

大会第一日目の夕方、菊池市総合体育館(メインアリーナ)にて全国の漕友が一堂に会するパーティが開催されました。他団体との相互交流の場であることはもちろんのことですが、他団体の中で活躍する碧水会メンバーとの再会の場でもあり、楽しい話のひとときが繰り広げられました。碧水会の向坊さん、井窪さんの奥様方も参加されました。



◇27日レース成績

昨日とは打って変わって快晴に恵まれ、絶好のボート日和になりました。

◇No.88 12:30 MKF 500m (E)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	E	ペンタ2号	2	02:09.78
2	E	桜樹会モデル	4	02:15.53
3	E	WILDROVER59	1	02:07.26
4	E	早大理工碧水会 RC	3	02:13.35
5	E	高野渡艇連合	5	02:19.89

碧水会クルー: C中平法生 S57 S小寺浩二 S60 3高島洋一 S56 2荒川裕明 S52 B栗原修一 S59

◇No.94 13:30 MKF 500m (G)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	G	阪大船友会	3	02:19.11
2	G	MAKIKO66	1	02:17.64
3	G	名古屋大学船友会関西 G2	2	02:18.72
4	G	安水会マナーローイング	5	02:22.14
5	G	早大理工碧水会 S50	6	02:35.72
6	G	福清会	4	02:20.89

碧水会クルー: C吉田新一 S44 S橋本隆一郎 S50 3橋本豊勝 S50 2澤田雅高 S50 B井窪裕之 S50

◇No.96 13:50 MKF 500m (G)



レーン	カテゴリ	クルー表示名	着順	タイム
1	G	伊達号 D	4	02:34.74
2	G	伊達号 C	2	02:23.33
3	G	ボートクラブ267	1	02:19.57
4	G	清水会A	6	02:50.35
5	G	早大理工碧水会 S4B	3	02:28.18
6	G	多摩川クラブ	5	02:42.88

碧水会クルー: C高島洋一 S56 S池田和夫 S50 3向坊博樹 S47 2鳥羽博司 S50 B松村治夫 S47

全日本マスターズレガッタ参加報告

松村治夫 S47

この3月末に7年間の鳥取生活を終えて4月に東京に戻りました。鳥取では「鳥取ローイングクラブ」を立ち上げて、湖山池で練習しながらレース活動を進めてきました。4月下旬にシングルスカルを湖山池から相模湖に運び、「早大理工碧水会」としての活動が名実ともにスタートしました。今回出場したのは、シングルスカル、ダブルスカル、エイト、ナックルフォアの4種目です。



一人で漕いでいた鳥取時代と変わって、クルーで出場したのは、下位グループに低迷することの多い「碧水会」を、往年のように上位を争うクルーに底上げしたからです。そのための方法としてダブルスカルを荒川君と組むことにしました。彼を選んだ理由は、①エルゴ記録で8分を切っていた、②スカラーの中で私に次ぐ年齢だったことの2つです。60才代の我々が実績を上げれば、下の若手年代の目標にもなり、モチベーションを上げられると思ったからです。



練習を始める前に2人で次の目標を立てました。①それぞれのスケジュールを互いに尊重する、②乗艇練習は相模湖コース2周(8km)のみとする、③むやみにローイング練習はしない。④ライトパドル、パドル中心の練習で基本に戻って技術的に進める、⑤リズムとフォーム作りはエルゴ練習で行う。⑥体力作りはそれぞれが自分のペースで行う。二人でのダブルスカル乗艇は、直前の公式配艇練習を含めて計10回となりました。

エイトの方は中平さんの代漕としての出場です。マスターズでのクォード種目とのレース間隔が1時間しかなかったためです。途中から加わったため、相模湖での乗艇練習にみんなのペースに合わせて参加しました。こちらは付フォアでの練習も含めて計5回乗りました。そのほとんどが、ダブルスカル練習後の乗艇です。その影響で、シングルスカルの練習は5回のみと漕ぎ込み不足のままレースに挑みました。

班蛇口湖での最初のレースはダブルスカル(カテゴリG)です。このカテゴリでの目標クルーは昨年度優勝の「日本ボートマンクラブ」です。世界マスターズでも3位に入るなどの実績があります。同じ組合せに入ったことから、4分を切らないととても相手にはならないと練習してきました。相手クルーのスタート練習を見てこれは並びそうだったのですが、誤算がありました。スタカ後の艇速が練習時と違って思うようにならなかったことです。スタートでは日本ボートマンクラブに出られ、じりじりと離されてしまいました。しかし漕ぎのリズムは出ており、1000mをもがくこともなく漕いで2位でゴールしました。相棒の荒川さんが肋骨の痛みで十分な力を出せなかったことは後で知りました。



次のレースはシングルスカル(カテゴリG)です。割り当てられた艇がなかなか到着せず、リギング調整の時間までは取れずに見切り出艇しました。漕いでみると左右ともにオールが切り込むことがわかり、スタート練習は全て失敗でした。相手は昨年のマスターズで抜かれたメンバーも含めた5杯レースです。完璧なオールを引かないと離されてしまうことは、当初から想定済みでした。スタートでは予想に反して飛び出し、「しめた」と思ってさらに艇速を上げたところで、オールが切り込みクラッチにロックされて動かなくなりました。艇が止まって出遅れたのはこれが2度目の経験です。全艇に先行されましたがその後はなんとか漕ぎ通して、最後は3位に収まり安堵した次第です。2レース後の同じカテゴリGシングルスカルでは、荒川さんが1位で入りました。最初から競り合いながらも漕ぎ抜きました。肋骨の痛みにも耐えてよく漕ぎ続けたものだと思います。ダブルスカルの練習の成果が上がったと実感したひと時です。



初日の最後のレース、エイト(カテゴリーG)の番です。3 レース目でしたが、十分なレース間隔もあって最も力を出せたという感があります。割り当てられた艇は漕ぎやすく、バランスが良く艇速も伸びました。結果は最下位に終わりましたが、他艇と競り合う展開でゴール後の満足感もひとしおでした。その他にも、高島さん、小寺・野村さんのダブルスカル、そしてクォード出場と、碧水会の力漕が随所に見られるなど、活躍の広がりを感じました。



2 日目は午前中に大型トラックへのエイトの積込作業を済まし、弁当を食べてから 3 クルーがナックルフォアで出場しました。500m レース一発なので気楽に参加でき、私が乗った昭和 48 年(平均)卒クルーは、前日のエイトよりもさらに良いリズムで漕ぎ通せたという感があります。



班蛇口湖の緑豊かな素晴らしいコースで、全国から集まったマスターズクルーの力漕を見ていると、レースへの参加に際しては健康第一でなければならないことがよくわかります。70、80 才代になっても漕げる体を作り上げるためには、体力維持に向けての日々の積み重ねが大事です。たとえ今は勝てなくても、ボートが漕げる体を維持して参加していけば、いつかは年代別の 1 位になれる可能性があります。

陸上の世界マスターズで、100m 走での 97 才と 96 才の優勝争いが先日放映されていました。97 才の優勝者は、レースの一周間に永眠したとのことです。105 才で 100m 走の世界記録を作った日本人の話も放映されていました。

もし、碧水会で 100 才超(カテゴリーN)のエイトが組めたら、出場するだけでそのまま世界記録となるでしょう。自分の最期の日が来るまで健康な体でボートを漕ぐことに挑戦してみようではありませんか。介護施設の世話にならずに自力で生活し、目標を持ってスポーツを楽しむながら、誰も悲しむことのない最後の日が迎えられたら、人生の過ごし方として最上ではないかと思っています。



五大学レガッタ OB エイト 2000M のスタート 6 レーンいっせいに並んで壮快にレース開始

## 第 61 回五大学レガッタ OB 招待レース

〈 碧水会 RC クルー 〉

C 吉田新一 S44、S 野村裕造 H03、7 本田一博 H03、6 山本武志 H03、5 芦澤正洋 H02、4 荒川裕明 S52、3 栗原修一 S59、2 小寺浩二 S60、B 中平法生 S57  
2018 年 4 月 28 日(土)  
場所: 戸田漕艇場

## 五大学レガッタ エキシビション 招待エイト 2000m レースに参戦して

山本武志 H03

2 月に大阪より東京へ転勤してきました H3 卒の山本武志です。大学卒業後、再びボートを漕ぐようになったのは 44 歳になる直前の 2011 年秋のびわ湖市民レガッタ参加がきっかけ。最近までナックルばかりでシェル艇に乗った経験も無く、昨年 11 月に Head of SETA(琵琶湖です)でパルテ会の補漕でエイトに乗艇。今年の 1 月に滋賀県のマシンローイングで 2000m を漕いでいたものの、基本フルマラソンに向けたトレーニングのみ。Facebook で友人になっている碧水会の OB の方も多かったため、すると今回のエイトのメンバーの一人として 6 番に座らせて頂きました。ここで運よく、整調と 7 番は同期。5 番は 1 年先輩でした。私のことはこの位にし、2 月から練習を開始し、約 3 か月弱、平日は早朝ラン練習、週末みっちり乗艇練習をこなし、碧水会 RC として、今年最初の 2000m に参戦してきました。

クルーは、C 吉田、S 野村、7 本田、6 山本、5 芦澤、4 荒川、3 栗原、2 小寺、B 中平 一昨年 6 位、昨年は 5 位ということで、今年は 6 杯レースで 4 位狙い。



当日は早めに集合し、現役の方のエイト、『回天 II』を調整後、様子見の漕ぎに出るが、COX 吉田さんより舵が効かないとの発言。戸田は水質改善が進み、日光が水底まで届き藻が繁殖。この藻が悪さをしていたのです。特にゴール地点から 1500m 地点は、結構藻だらけ。この時は、何とか無事にゴール出来たらいいなと考える位で、一旦、艇を上げました。

さて、スタート地点。久しぶりの競艇場の中。ここに来るたび、どうして、競艇場と共存の道を選んだの? って思う気持ちは、脇に追いやります。対戦相手は以下のクルーでした。ちなみに、チーム名の後の数字は、漕手平均年齢です。

- 1 レーン、佐鳴漕友会 59.4
- 2 レーン、医王会 57.6
- 3 レーン、碧水会 55.1
- 4 レーン、四神会 47.9
- 5 レーン、団塊号玄武 62.4
- 6 レーン、5 大学ミドル 51.0

300、500、1000m のレースは、経験済みだけど、学生以来の 2000m。それもエイト。どうなるのって少し緊張。そして、更に緊張させるように 5 分前、4 分前ってコールするし、途中で、ユニフォームの色、特にパンツが統一されてないと全艇に対し注意が出るし、うーん、この逃げ場のない緊張感が嫌だけど、いいかもと一人で訳の分からない納得をしながらスタートを待ちます。そしていよいよ、『Attention …Go!!』必死に漕いで、200m 位進んで横目で見ると、左側の 4~6 レーンは、あれ?? 見えない。右の佐鳴と医王会とはいい勝負っぽい。心の中で 4 位に向けて冷静に行こうと思い、500m 過ぎてコンスタントのレースピッチで漕いでいて、1500m まで心肺が持つことを確信。この時、マラソンで鍛えておいてよかったと、少し安心している自分が居ました。

競っている相手との 1500m までのタイムは、表のとおり、6 番の私でも佐鳴の存在は感じていたので、1500m 地点直前までは、ラスト 500m で抜いて感動の 4 位だと妄想しておりました。

一方、先行する 3 艇は、1500m 地点で 3 秒以内のタイム差で先行集団を形成。特に 2 位四神会(4 レーン)と 3 位団塊号(5 レーン)は、0.18 秒差の僅差。しかし、後日、団塊号 COX の方のレポートを読むと、藻が悪さし、1500m を超えたところで、団塊号が 4 レーン側へ曲がり、四神会とチャンバラ。そして 2 艇共ストップ。その影響を受け、3 レーンの我々もストップ。この影響を受けなかった 6 レーンの 5 大学は、トップをキープ。艇を止めることなく進めた 1 レーンの佐鳴は 2 位。医王会は、止まらなかったが、そのまま 6 位。四神会は、いったん止まって、佐鳴に抜かされたが 3 位でゴール。



1500m 時点で団塊号に 14.80 秒差をつけられていた碧水会は、必死に漕いで団塊号をまくって 4 位に入りました。

正式なレースだったら、成立していない、もしくは、失格続出のレースと思います。そこはエキシビション。無事レース成立。何とか 4 位に入ったけど、まともに漕げた 1500m までの 500m ラップは、決して満足できるものではなく、課題ばかりが残ったレースでした。

一方、レース後の懇親会は、約 50 名が集まり、レース上映や分析、一人一言。胸にはチーム名と氏名が書いたシールを張り、和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。各チームの話を聞いていると、強かったチームは、自分たち以上にしっかり練習していると感じました。地道に練習を重ね、来年は更に躍進できればと思っております。

レーン	クルー	500m	1000m	1500m	2000m	着順
1	佐鳴漕友会	01:54.34	03:58.09	06:01.25	08:02.56	2
2	医王会	01:55.37	04:02.03	06:13.42	08:44.57	6
3	碧水会 RC	01:55.77	03:59.75	06:03.79	08:22.74	4
4	四神会ミドル	01:51.46	03:50.48	05:48.81	08:16.06	3
5	団塊号玄武	01:49.98	03:49.76	05:48.99	08:33.09	5
6	5 大学ミドル	01:50.75	03:48.37	05:45.17	07:43.08	1



## 第 54 回神奈川レガッタ

平成 30 年(2018)4 月 8 日(日)

場所: 相模湖漕艇場



本年最初のレースとして碧水会からはエイト 2 杯が出場しましたが、他団体からの出場がなかったため碧水会内部のタイムトライアル・レースとなりました。1 杯は 4 月 28 日の五大学レガッタをめざす RC クルー、もう 1 杯は 5 月 25 日の全日本マスターズをめざす S50 卒クルーです。

[ レース報告 ] 小寺浩二 S60

午前中は、順風ではありませんでしたが、あまりに波が高く、午後は波はおさまったものの、逆風と観光船のうねりがあり、タイムトライアルに適した条件ではありませんでした。

それにも関わらず、対抗エイトは、1 本目 3 分 52 秒、2 本目 3 分 50 秒とまずまずの結果で、無風の好コンディションであれば、40 秒を切れた可能性もあったと思います。

[ レース成績 ]

神奈川レガッタ 8+ 1000m			
クルー名	着順	1 回目 (m:ss.00)	2 回目 (m:ss.00)
早大理工碧水会 RC	1	3:52.09	3:50.44
早大理工碧水会 S50	2	4:32.97	4:37.16

早大理工碧水会 RC クルー



C 鳩貝 滋、S 野村祐造 H03、7 本田一博 H03、6 山本武志 H03、5 芦澤正洋 H02、4 荒川裕明 S52、3 福田岳史(伝助)、2 小寺浩二 S60、B 栗原修一 S59

早大理工碧水会 S50 クルー



C 中平法生 S57、S 池田和夫 S50、7 澤田雅高 S50、6 鳥羽博司 S50、5 橋本豊勝 S50、4 横塚隆一郎 S50、3 向坊 博 S47、2(補漕)B 井窪 裕 S50

## 平成 30 年 歓迎 新人 OB 会会員 《 歓迎 新入 OB 会会員 》

報告: 高荷道雄 S50

平成 30 年(2018)3 月 4 日(日)

場所: 金城庵 本館

平成 30 年 3 月 4 日(日)卒業生追い出しコンパ(金城庵 本館)には、卒業生 7 名、現役部員 21 名、碧水会から鳥羽会長以下 10 名の総勢 38 名が参加し、理工ボート部主務の渡辺匠君による進行のもとで盛大に執り行われた。



今年の卒業生は以下の7名で、大学院進学3名を除く4名が新入OB会会員となる。

> 就職: 杉本 光、村田慎吾、中谷理沙、中野佑香

> 大学院: 安納光太郎、上田慎二、田村研人

鳥羽会長から、卒業のお祝いとOBが現役部員があるので、新OBも現役部員を是非サポートするようとの挨拶があった。続いて、林監督から卒業生の今後の活躍と理工ポート部が更に強くなって昔の輝きを取り戻すことを祈念して乾杯の音頭が執り行われた。

ビジョン・会則整備委員会小堂委員長からは、56年前の理工ポート部発足以来の理念である「弱者は歩け 健康な者は走れ 強者は競技せよ」を卒業した後も実践し、逞しく社会に役立つ人材になってほしいとのエールが送られた。

会員リレーション委員会高荷委員長からは、OB会費納付状況やOB会入会の手続き要領の説明および碧水会活動への参加を呼びかけるとともに、卒年幹事を安納光太郎君にお願いすることになった。また、今年の卒業生7名各々から挨拶があり、現役時代に得られた教訓として、同期メンバーおよび理工ポート部を大切にすることの重要性、現役部員に対するポート活動活発化への期待、卒業した後も理工ポート部への関係を続けてゆきたい等の意見が述べられた。

恒例によって、現役支援委員会高島委員長から、卒業後も帰ってこられる場所は理工ポート部であることや後輩の面倒をみてほしいという言葉とともに、卒業生7名に対して記念品として碧水会グッズ2点(キャップ、エンブレム)が贈呈された。続けて、財政・会計委員会に代わって会員リレーション委員会から卒業生7名に、OB会への入会手続きに関する書類が手渡された。



碧水会記念グッズを贈呈された今年の卒業生7名後列左より: 安納光太郎(卒年幹事)、上田慎二、中野佑香(新OB)、村田慎吾(新OB)、杉本光(新OB) 前列左より: 中谷理沙(新OB)、田村研人



## 初漕ぎ・報告

高橋康夫 S52

平成30年初漕ぎ  
平成30年(2018)1月13日(土)  
場所: 戸田オリンピックコース

〈RCエイト初練習〉

この日一日の行事の内容を広くOBの方々に知っていただき、来年の初漕ぎにはぜひ多くのOBの方々に参加していただきたいという願いを込めて報告します。

9:30 戸田国際艇庫前集合。艇は回天II、シートは、C吉田、S野村、7小林、6高橋、5芦澤、4小寺、3福田、2横塚、B栗原。



10時過ぎに乗艇開始。気温は低いが晴天・波風なく絶好のコンディション。残念なのは、コースがスカル・クオードで満杯状態。10時45分を過ぎるとその混雑もなくなり、ショートローを混ぜたLSD中心で合わせて3周回る。ややストサイに傾く傾向はあったが、そこそこにバランスもとれて、いい練習ができた。



《反省》10時半までは、コースが混んで練習ができないので、それ以降に乗艇すべき。毎年そう思うが、必ず1年経つと忘れて同じ反省を繰り返している。

〈蕎麦屋で昼食がてらミーティング〉  
これも例年どおり国谷で行う。ミーティングの主題はマスターズのクルー構成。



〈現役主催の初漕ぎ〉

今年、回天IIのエイト1艇だけ。1ラウンド目、OBから向坊さん・橋本さん・井窪さん、それに熊谷助監督が乗り、後はコックスを含めて現役が埋めてくれた。中には乗艇中 補漕の現役女子と仲良く話をしていたOBもいたとのこと。



2ラウンド目は、S54 那須原さん・栗原さん・S59 堀内さん・S59 小野澤さん、それに熊谷さん。後は現役というクルー構成で、正調是那須原さん。2ラウンドした現役によるとやはり漕ぎ慣れているOBが乗った1ラウンドの方がバランスが取れて漕ぎ易かったとのこと。

〈懇親会〉

現役が準備してくれた豚汁・おにぎりをつまみながら楽しくビール飲ませてもらいました。参加した現役からは今年の抱負・意気込みを聞かせてもらいました。



〈校歌斉唱〉

最後は例によって校歌斉唱。



《総括》

今年も全体に楽しい初漕ぎではあったが、どうも顔触れが何時もと変わらず、OBの参加者が少なかったのが残念。来年はもっと声を掛け合って多くのOBで楽しみましょう。

## 第八十七回早慶レガッタ

栗原修一(S59年卒)

四月二十二日(日)、好天の下で第八十七回早慶レガッタが行われました。

碧水会として早慶レガッタを支援するのは第八十三回から五回目となります。今回は女子学部対校レース(五〇〇m)が新設され、我が理工漕艇部も大なるモチベーションで練習に励み、慶應医学部端艇部とのレースに臨みました。

一. レース結果

女子学部対校クオドルプル、学部対校フォア、女子対校エイト、第二エイト、対校エイトと、大学生のレースでは全て早稲田が勝利。昨年に続き早稲田の完全優勝となりました。

二. 碧水会からの協力

今回も理工漕艇部OB、稲門会、ポート関係者の皆さんから広告金・協賛金のご協力をいただきました。また前日、当日のp現地支援協力として延べ三十四名のご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

三. ライブ配信

碧水会では、第八十四回大会よりレース映像のライブ配信を行っています。年々技術が向上し視聴者数も増加してきております。今回より日テレG+の放映も打ち切りとなったためライブ配信映像が唯一の公式記録映像となりました。これまでの経緯は以下の通りです。

第八十四回大会 試験的に関係者のみにライブ配信を実施。視聴者数 50 名。

第八十五回大会 台東区側応援席隣に大型ビジョンを導入。視聴者数 1200 名。

第八十六回大会 六箇所全地点プロカメラマンによる撮影、視聴者数 2000 名。

第八十七回大会 審判艇に遅延のない

通信システムを導入。視聴者数 4900 名。次回(第八十八回大会)は、女子対校レースも1000mで行う予定であり、理工漕艇部現役諸君のますますの活躍を祈るとともに、OBの皆様には引き続きのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ライブ配信センター



応援席と大型ビジョン



カメラマン助手を務める高橋さん

懇親会



鎌田総長と記念撮影(懇親会)

## 碧水会RC便り

高橋康夫(S52年卒)

〈戸田コースにおける藻問題〉

学生時代に誰も経験したことがないことが、今戸田のコースで起きています。数年前から水面に藻(水草)が顔を出してオールに絡まるというトラブルが発生し始めましたが、今年の夏は放っておくとたちまち水面が藻で覆われるという状況になってしまいました。

その問題を起こしているのが主に、オオカナダモ(侵略的外来種ワースト100指定植物)

近年の水質浄化努力によってコースの透明度が高くなり、太陽光が湖底近くまで届くことによって水草が育ち、水温が高くなるとさらに育成が進むとのこと。

今年7月7日8日に開催した東日本社会人選手権は直前になってこの藻のために開催場所が戸田から宮城県長沼ポート場に変更になってしまいました。碧水会RCからこの大会に荒川(S52年卒)・小寺(S61年卒)のダブルスカル(新設1000m種目)と松村さん(47年卒)のシングルスカル(2000m)の参加を予定していましたが、ダブルの方は対戦相手が全艇出漕を取り消しレースが不成立となり、シングルスカルだけの出漕となってしまいました。



日本ボート協会呼び掛けにより当クラブからクサリを使った人力による藻の引抜き実験に参加し、やり方に改良を加えながら 8 月現在現役が他校ボート部員と一体になって除去作業を行っています。何とかインカレは戸田で開催の見通しです。



〈2020 東京オリンピックボート競技へのボランティア参加〉

日本ボート協会からの要請に応じて碧水会 RC 所属メンバー 10 名がボランティア登録しました。まずは前哨戦となる 2019 年世界ボートジュニア選手権から海の森に赴き、総務/広報/アスリート支援/障がい者支援をします。

一般 OB の方で協力いただける方は何時でも歓迎します。下記までご連絡下さい。

S52 年卒高橋 y-takahashi@nifty.com

### 催事委員会だより

S57 年卒 中平 法生

2018 年は、マシンローイング大会への参加、地方 OB 活性化を目指しました。地方 OB 活性化は来年の全日本マスターズが大阪の浜寺で開催とのことで持ち越しです。来年は愛知、関西の OB を募り全日本マスターズ参加を予定しています。今年是有志により 8 月戸田花火大会(今年 2018/8/4(土))を鑑賞しました。花火当日の午後三菱艇庫に集合。スカル、ナックル乗艇後、三菱艇庫屋上にて花火を鑑賞。来年は広く参加者を募集、まずは日帰りを実施。恒例になれば三菱艇庫に宿泊して翌日も乗艇なども視野に計画しています。



三菱艇庫屋上からの戸田花火。コース東京寄りの土手にも観客たくさん。

#### 今後の計画

2019 年: マシンローイング参加。恒例のレースに参加。全日本マスターズ@浜寺。マスターズ@愛知池。その他、戸田、相模湖、鶴見川のレース。

2020 年: 東京オリンピック開催。詳細は全く未定ながら、例えば、チケットを手配してボート観戦ツアーなど。

2021 年: 理工漕艇部 60 周年記念レガッタ開催。50 周年、55 周年と同様に戸田でレース。午後は早稲田に戻ってパーティ。

以上

### 監督報告

監督 林 操 (s45 卒)

#### 1. 新入部員

今年も他学部や関連サイトへの広報、大学指定日のキャンパスでの積極的な声掛けとフォロー等の結果、新入部員は合計 16 名(1 年男子漕手 7 名、女子 5 名、マネージャー 4 名、2 年女子漕手 1 名)と、昨年に引き続き多くの新人を獲得した。新人体験乗艇、連休新人合宿、キャンパスでの合トレなど、新人も積極的に参加し、4 年生を含む上級生と共に活発な活動を展開している。今後も出来るだけ多くを定着させる努力をして行く。

#### 2. 2018 戦績等 (添付表参照)

ここ 1、2 年、新人加入が増え活動も活発化しており、レースへのエントリー数が増え部会計を圧迫するほどになっている。成績も徐々にではあるが指導の成果が顕れるようになって来ている。お花見レガッタ(1000m)3 月末 MIX、W1X、M2X、W4X、一年生 M4+、を始め男女 5 クルー 12 名がシーズン開幕戦に参戦した。W1X は予選、準決を勝ち上がり見事決勝進出。両クルー共残念ながら表彰台には至らなかった。

早慶レガッタ(1000m) 87 回の長い歴史の中で今年初めて両校女子の強い希望で、学部対抗女子クオド 500m レースがエキジビションとして行われ、後半落ち着いた漕ぎで水を空けて優勝。男子は今年も慶應医メンバー揃わず付フォアでの闘いとなり、余裕の漕ぎで大きく水を明けて優勝。二連覇。対校、第二、女子エイトも早稲田が勝ち、大学は早稲田が完全勝利した。両校女子の熱意と実力は、今回で大会運営側も認める所となり、今後は本レースとして継続して実施されるよう努力して行くことが必要である。全日本軽量級(2000m)5 月中旬 W1X、M2X が参戦。レース時点で最強ペアで臨んだ M2X は予選、敗復を経て見事準決へ進んだが決勝進出はならなかった。

関東理工科系レガッタ(1000m)5 月下旬新人 KF (含む女子) 2 艇、M1X 3 艇、W1X 1 艇、M2X 3 艇、M4+ 1 艇 10 クルーが出漕し、OB と共に大会を盛り上げた。東日本選手権(1500m)6 月下旬 藻繁殖の為 1500m×中央 4 レーン使用、順位決定無しの変則的な大会となった。W2X 2 艇、M2X 2 艇、M4+ 2 艇 6 クルーが出漕。東ボの通常大会に比し、順位決定もなく盛り上がり欠けたが、各クルーは精一杯の漕ぎを披露した。

夏季競漕大会(1000m)7 月 東ボ主催普及目的の第 3 回大会には、M2X 2 艇、新人中心 MKF・WKF 2 クルー、ミックス KF 2 艇、計 6 クルーが出漕。女子を含め 1 年生新人から 4 年生まで参加し、部員皆で大いに楽しんだ大会となった。

#### 3. 夏合宿と今後のレース

今年の夏合宿は特に地方遠征はせず、9 月初旬のインカレと併催されるオックスフォード盾 8+クルー (C1 年、M2 1 名、4 年 1 名、2 年 3 名、1 年 3 名)とサポートは、相模湖、戸田で合宿中である。インカレ後は秋の大会に向け相模湖・戸田での計画である。

#### 4. 今後の計画 (添付表参照)

・9 月 6 日~9 日 (木~日) 全日本学生選手権・オックスフォード盾 2000m W1X

MIX M4+ 8+

- ・9 月中旬~9 月下旬、相模湖合宿(藤屋)
- ・10 月 13・14 日 (土・日) 東日本新人選手権 1000m
- ・10 月 21・22 日 (土・日) 相模湖レガッタ 1000m
- ・10 月 25~28 日 (木~日) 全日選手権 2000m
- ・11 月 9~11 日 (金~日) 全日新人選手権 2000m
- ・11 月 24 日 (土) 未定 Head of Arakawa

### 【現役便り】

#### 理工漕艇部に入部して

一年 一葉和真

今年度理工漕艇部に入部した早稲田大学一年の一葉和真です。今年からボートを始め、技術面、体力面共にまだまだついていくのに必死ですが、七月の終わりに夏季競漕大会にダブルスカルで、九月にはオックスフォード盾レガッタにエイトのクルーとして参加させていただけるなど、充実した日々を送らせていただいています。先輩の方々や同期も意欲的で練習熱心な人が多く、日々とてもいい刺激になっています。私はもともと受験期で落ちた体力を戻すために運動のできるサークルを探していました。中高で剣道をしていたので剣道のできるサークルに入るつもりでしたが、周りのノリについていけず続けられないなと感じていました。その時たまたまもらった理工漕艇部のチラシに初心者でも始められると書いてあったのを見て、このサークルに興味を持ちました。それから理工漕艇部のイベントに参加するようになったのですが、みんな真剣に競技に打ち込んでいる印象を受けましたし、ボートのことが好きなのだと感じられる場面も多く、そんな雰囲気の中で自分も一つのことに熱中してみたいなと思い入部を決めました。

実際に入部すると先輩後輩関係なくとても仲が良いので楽しいですし、朝早く練習もきついです。日々充実していると感じることが多く入部してよかったと思っています。私にとって人生初めてのレースだった夏季競漕大会は試験期間と被りあまり練習時間をとれなかったですし、バランスをとることや艇を進める難しさを痛感しましたが、それ以上に水を滑る感覚やほかの艇と競うことの楽しさを実感でき、終わった後にとても気持ち良かったと感じることができたのは貴重な体験だったと思います。

私はまだボートを始めたばかりで、周りの先輩方に比べたら技術的にも体力的にも劣りますし、まだまだボートの楽しさを知らないと思いますが、練習を積み重ねていくことで少しずつボートの魅力を知っていけたらと思います。これからどうぞよろしくお願い致します。

#### 早慶戦女子クオードに出漕して

3 年 小松美緒

女子主将を務めさせて頂いています、3 年の小松美緒です。現在女子部員は、4 年生 1 名、3 年生 3 名、2 年生 4 名、1 年生 7 名と年々増加しており、合宿所がキャパオーバーになる程で、嬉しい悲鳴をあげています。最近では、マネージャーのサ

ポートのおかげで漕手が漕ぎに集中できる環境ができ、非常にありがたく思っています。また、夏の相模湖合宿では W4x+ の練習ができるほど女子漕手が集まり、人数が増えたからこそできることが増えてきた喜びを感じています。

この 4 月、史上初となる女子学部対校舵手付きクオドルブルのレースが実現しました。伝統ある早慶レガッタに新たなレースを追加させて頂くということは、多くの OB の方々のお力添え無くしては決して実現できなかったことと思えます。この場をお借りしてお礼申し上げます。結果は初出場初優勝という好成績を収めることができ、嬉しい一言では表せない程胸が熱くなりました。ゴールの瞬間は、「このクルーでやってこれて、早慶戦が実現できて、本当に良かった。」と、自然と涙が溢れました。

早慶戦に向けて、女子クオードは 12 月から練習を始め、春休みはそのほとんどを相模湖で共に合宿をして頑張ってきました。ほぼ毎日顔を合わせ、苦しいメニューを一緒に乗り越えていく日々を過ごしていくと、仲間以上の繋がりや絆のようなものができていった気がします。「クルーは家族」と言いますがまさにその通りで、船が気持ちよく進んだ時はみんなで喜び、逃げ出したくなるような時も仲間を想えばもう一踏ん張りでき、いつも互いを支え合える関係は、家族同然であるなど実感しました。今思い返すと、気持ちが悪くなるまで 1000t や坂ダッシュを何本もやったことも、相模湖の荒波にびしょ濡れになりながら漕いだことも、敷き布団を 3.5 枚敷いて 5 人で寝たことも、このクルーで過ごした日々すべてが本当にかげがえのない時間であったなと思います。

このように苦楽を共にしてきた最高のクルーと、早慶戦という最高の舞台上で戦いそして優勝することができ、私は一生忘れることのできない喜びを感じると共に、たくさんの感謝の気持ちでいっぱいになりました。運営の方々や多くのサポートや応援をしてくださった OB の方々、いつも現役のために力を尽くしてくださった監督陣の皆さん、互いに高め合って頑張ってきた仲間たち…周りで支えてくださったすべての方々に感謝しています。本当にありがとうございます。

これから私にできることは、後輩達にこの新たな伝統をしっかりと繋げていくことであると思っています。そして後輩達にもこの早慶戦のすばらしさや楽しさ、喜びを感じてもらいたいです。そのために、これまで先輩方がしてくださったような温かい後輩達へのサポートをはじめとし、様々な場面で部に恩返しをしていけたらと思います。



第 45 回全日本学生選手権 9 月 8 日

現役戦績現役戦績

2018年 早稲田大学理工学部漕艇部レース戦績・日程

2018/8/20

日程		大会	コース	種目	距離	順位	タイム	艇差等	クルー
3月24日	土	第66回お花見レガッタ	戸田	W1X 予選 F	1000	2/2	4'18"40	10位/26	小松美緒(2)
				W1X 準決 B		3/6	4'35"84		小松美緒(2)
				M1X 予選 F		4/5	3'59"22	24位/54	S 福島聡(2)
				M2X 予選 D		2/5	3'36"68	15位/33	S 福島聡(2) B 渡辺匠(2)
				W4X 予選 A		3/5	4'15"66	6位/9	C 山田菜々子(1) S 小松美緒(2) 3 村越敬理那(2) 2 矢島美季(1) B 新田彩乃(3)
				M4+ 予選		3/6	3'55"46	23位/24	C 松坂健吾(1) S 内藤大喜(1) 3 今町航(1) 2 植原俊太郎(1) B 谷口賢太(1)
3月25日	日			M1X 順位決定 E25-30		3/6	3'52"84	28位/54	S 福島聡(2)
				M2X 順位決定 C19-24		3/6	3'33"89	21位/33	S 福島聡(2) B 渡辺匠(2)
				M4+ 順位決定 D19-24		3/6	3'50"85	24位/24	C 松坂健吾(1) S 内藤大喜(1) 3 谷口賢太(1) 2 植原俊太郎(1) B 今町航(1)
				W1X 決勝		6/6	4'30"55		小松美緒(2)
				W4X 決勝		6/6	3'59"80		C 山田菜々子(1) S 小松美緒(2) 3 村越敬理那(2) 2 矢島美季(1) B 新田彩乃(3)
				M8+ 順位決定 25-30		1/3		31位/33	
4月22日	日	第87回早慶戦	隅田川	W4X K 応医 2'45"14	500	1/2	2'37"50	優勝 2艇身	C 谷口賢太(2) S 福島聡(3) 3 川上達也(3) 2 松坂健吾(2) B 渡辺匠(3)
				M4+ K 応医 4'00"75	1000	1/2	3'58"47	優勝 2艇身	C 山田菜々子(2) S 小松美緒(3) 3 村越敬理那(3) 2 矢島美季(2) B 新田彩乃(4)
5月17日	木	第40回全日本軽量級選手権	戸田	W1X 予選 A	2000	3/5	8'58"00		小松美緒(3)
				M2X 予選 F		3/4	7'21"64		S 福島聡(3) B 渡辺匠(3)
5月18日	金			W1X 敗復 D		2/4	10'08"89		小松美緒(3)
				M2X 敗復 C		2/4	8'17"27		S 福島聡(3) B 渡辺匠(3)
5月19日	土			M2X 準決 B		4/4	7'47"85		S 福島聡(3) B 渡辺匠(3)
5月20日	土	第50回関東理工系レガッタ	戸田	新人 KF 予選 A	500	6/6	2'26"30		B:C 山田菜々子(2) S 大友康太(1) 3 上田結月(1) 2 佐久間美羽(1) B 吉野達人(1)
		東京海洋大学幹事校		新人 KF 予選 B	500	4/6	2'23"32		A:C 村越敬理那(3) S 江連美桜(1) 3 中川龍馬(1) 2 粕谷哲之介(1) B 新田彩乃(4)
				M1X 予選 A	1000	4/4	4'14"43		A:内藤大喜(2)
				M1X 予選 B	1000	3/3	4'35"08		B:谷口賢太(2)
				M1X 予選 C	1000	4/4	4'23"35		C:大原光平(3)
				M2X 予選 A	1000	4/5	3'48"24		C:S 高橋宣成(1) B 三保尚太(4)
				M2X 予選 B	1000	4/5	4'06"56		B:S 松坂健吾(2) B 今町航(2)
				M2X 予選 C	1000	2/5	3'35"78		A:S 福井達太(4) B 藤田一駿(3)
				OB1X 決勝	1000	2/2	4'24"74	優勝	松村治夫(69) 2位 小寺浩二(57)
				W1X 決勝	1000	2/3	4'24"25		矢島美季(2)
				M2X 決勝	1000	5/5	3'48"72		A:S 福井達太(4) B 藤田一駿(3)
				OB8+	1000	3/4	3'55"56		O 吉田新一(71) S 野村祐造(51) 7 本田一博(50) 6 荒川裕明(65) 5 栗原修一(58) 4 鳥羽博司(68) 3 小林良夫(65) 2 小寺浩二(57) B 中平法生(60)
				M+4 決勝	1000	2/4	3'40"25		C 谷口賢太(2) S 福島聡(3) 3 川上達也(3) 2 松坂健吾(2) B 渡辺匠(3)
6月23日 6月24日	土 日	第68回東日本選手権 紫茂のため距離短縮・4LNのみ 使用、順位決定無し	戸田	W2X 予選 C	1500	2/3	5'48"20		A:S 小松美緒(3) B 矢島美季(2)
				W2X 予選 D		3/3	6'37"99		B:S 村越敬理那(3) B 江連美桜(1)
				M2X 予選 D	漕艇部の為短縮	4/4	5'32"81		A:S 福井達太(4) B 藤田一駿(3)
				M4+ 予選 F		3/3	6'09"77		B:C 谷口賢太(2) S 福島聡(3) 3 今町航(2) 2 松坂健吾(2) B 渡辺匠(3)
				M4+ 予選 H		3/3	5'31"23		A:C 向井善都(3) S 三保尚太(4) 3 中川龍馬(1) 2 植原俊太郎(2) B 粕谷哲之介(1)
7月29日	日	第3回東日本夏季競漕大会	戸田	M2X-A 予選 B	1000	3/3	4'51"81		A:S 向井善都(3) B 川上達也(3)
				M2X-B 予選 C		2/3	4'47"69		B:S 松坂健吾(2) B 一葉和真(1)
				M2X-A 順決 D		2/4	4'03"80		A:S 向井善都(3) B 川上達也(3)
				M2X-B 順決 D		1/4	4'03"59		B:S 松坂健吾(2) B 一葉和真(1)
				MKF 予選 B		3/3	5'12"40		C 三保尚太(4) S 秋山淳(1) 3 粕谷哲之介(1) 2 中川龍馬(1) B 吉野達人(1)
				MKF 順決 B		1/2	4'45"48		C 三保尚太(4) S 秋山淳(1) 3 粕谷哲之介(1) 2 中川龍馬(1) B 吉野達人(1)
				WKF 決勝		1/1	5'36"83		C 新田彩乃(4) S 上田真穂(2) 3 上田結月(1) 2 江連美桜(1) B 佐久間美羽(1)
				XKF-A 決勝		2/2	4'31"92		C 福島聡(3) S 只野太朗(3) 3 村越敬理那(3) 2 小松美緒(3) B 渡辺匠(3)
				XKF-B 決勝		1/2	4'35"53		C 谷口賢太(2) S 今町航(2) 3 山田菜々子(2) 2 矢島美季(2) B 内藤大喜(2)
9月8日	金	第45回全日本学生選手権	戸田	W1X 準決勝	2000		08:47.92	4位/4	矢島美季(2) 準決勝進出
				M1X 準決勝			07:52.40		藤田一駿(3) 準決勝進出
9月7日	木			M4+ 敗復			07:18.99	4位/5	C 只野太朗 福島聡(3) 渡辺匠(3) 内藤大喜(2) 粕谷哲之介(1):敗者復活戦まで
9月8日	土	第58回ワックスフォード層エイト		M8+ 敗復			07:03.52	5位/5	C 秋山淳(1) 有田光佑(M2) 福井達太(4) 植原俊太郎(2) 今町航(2) 中川龍馬(1) 一葉和真(1) 大友康太(1) 敗者復活戦まで

今後の日程：第41回東日本新人選手権、10月21日～22日 第62回相模湖レガッタ、10月22日～25日 第96回全日本選手権、11月9日～11日 第59回全日本新人選手権大会、11月24日 第13回 Head of The ARA